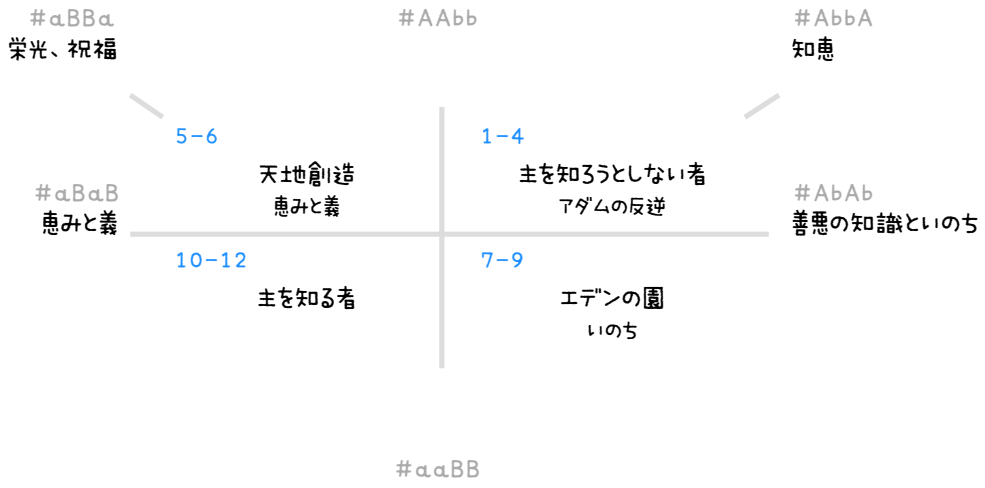

【巻物の中での役割】
【鍵語、対語】四分割のことば
恵みとまこと、義とさばき
【旧約の連想：ストーリー、契約、十戒・・・】
■主を恐れて悪を憎む（知恵と悪）
Rom 3:10 次のように書いてある、「義人はいない、ひとりもいない。・・・Rom 3:18 彼らの目の前には、神に対する恐れがない」。
■箴言の教え
Prv 8:13 主を恐れるとは悪を憎むことである。わたしは高ぶりと、おごりと、悪しき道と、偽りの言葉とを憎む。
Prv 16:6 いつくしみchecedとまことemethによって、とがはあがなわれる、主を恐れることによって、人は悪を免れる。
■いつくしみ（恵み）とまことは主の名
Exd 34:6 主は彼の前を過ぎて宣べられた。「主、主、あわれみありrachuwm、恵みありchannuwn、怒ることおそく、いつくしみchecedと、まことemethの豊かなる神、
■主の恵みはとこしえまで（感謝と賛美）
1Ch 16:4 ダビデはまたレビびとのうちから主の箱の前に仕える者を立てて、イスラエルの神、主をあがめ、感謝し、ほめたたえさせた。1Ch 16:5 楽長はアサフ、その次はゼカリヤ・・・で、彼らは立琴と琴を携え、アサフはシンバルを打ち鳴らし、1Ch 16:6 祭司ベナヤとヤハジエルは神の契約の箱の前でつねにラッパを吹いた。
1Ch 16:34 主に感謝せよ、主は恵みふかくtowb、そのいつくしみchecedはとこしえに絶えることがない。
■詩篇はいつくしみの歌（checedx127回）
■ヒゼキヤの礼拝改革（その後、セナケリブの口撃）
なぜエルサレムは攻撃されているのか
2Ch 29:6 われわれの先祖は罪を犯し、われわれの神、主の悪と見られることを行って、主を捨て、主のすまいに顔をそむけ、うしろを向けた。2Ch 29:8 それゆえ、主の怒りはユダとエルサレムに臨み、あなたがたが目に見るように、主は彼らを恐れと驚きと物笑いにされた。
2Ch 29:26 こうしてレビびとはダビデの楽器をとり、祭司はラッパをとって立った。2Ch 29:30 またヒゼキヤ王およびつかさたちはレビびとに命じて、ダビデと先見者アサフの言葉をもって主をさんびさせた。2Ch 30:27 このとき祭司たちとレビびとは立って、民を祝福したが、その声は聞かれ、その祈は主の聖なるすみかである天に達した。
【新約の連想：引用、型、主の祈り・・・】
■あわれみ（真実の愛） eleos - mercy
Lke 1:50 そのあわれみは、代々限りなく主をかしこみ恐れる者に及びます。
Lke 1:54 主は、あわれみをお忘れにならず、その僕イスラエルを助けてくださいました、
Lke 1:58 近所の人々や親族は、主が大きなあわれみを彼女におかけになったことを聞いて、共どもに喜んだ。
Lke 1:72 こうして、神はわたしたちの父祖たちにあわれみをかけ、その聖なる契約、
Lke 1:78 これはわたしたちの神のあわれみ深いみこころによる。また、そのあわれみによって、日の光が上からわたしたちに臨み、